キャラクター名
金打 正宗（かねうち まさむね）

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	骨董品屋
オプショナル		年齢	37歳	性別	男性
覚醒	渇望	衝動	破壊	初期侵食率	33 %
出自	安定した家庭	経験	汚れ仕事	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	1			6
感覚	2	0	0			2
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	33
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティ・ウェポン		0	3	Lv+7+5=13		
モーフィングバイク		0		8+4=12		全力移動250ｍ
お色直し		0				完全獣化+知性ある獣+インフィニティ・ウェポン
おしおき		0				ペネトレイト+コンセントレイト

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：噂好きの友人	
コネ：要人への貸し	
コネ：情報収集チーム	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
アルケミスト	P	N		
高辻 綾野	P 好奇心	N 不安		
戦友	P 誠意	N 悔悟		
父親	P 尊敬	N 劣等感		
影山迅	P 尊敬	N 憐憫		
五十嵐結衣	P 庇護	N 憐憫		
来海ルミ	P 好奇心	N 不安		

最大財産P: 6	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
インフィニティ・ウェポン	1	5	マイナー					
効果： 武器作成。1シーン持続。								
ヴィークルモーフィング	1	4	マイナー			自動		
効果： ヴィークルを作成し、即座に搭乗可能。（シーン終了時まで）								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-		
効果： C値をLV分マイナスする（下限7）								
完全獣化	2	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果： シーン終了まで【肉体】系の判定に[Lv*2]個のダイスボーナス。素手以外使用不可になる								
知性ある獣	1	2	マイナー	至近	単体	自動	-	
効果： 獣化状態でもアイテムが使用可能。								
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 装甲無視。判定－１個								
デトネイトモード	1	3	オート	至近	自身	自動	120	
効果： 攻撃の直前に宣言する。武器一つの攻撃力を二倍に。武器は破壊される。								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果： DR直前、カバーリングを行う。行動済でも可、行動済にならない。1メインプロセス1回。								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

《キャラクター紹介》
無精ひげを生やした少し胡散臭い男性。
37歳、妻子持ちの骨董品屋。
飄々としているが、見た目ほど軽くはない模様。
頭髪に所々白く輝く気苦労の証が見える。
基本的にUGNの任務ではモルフェウスの能力をメインに駆使する事が多い。
バイクに跨っては武器を生成し、敵陣に切り込む大胆な戦法や、
丸腰であるように装っては武器を生成して不意を突くような狡猾な戦法も見せる。
趣味は陶芸。

「いらっしゃい…あぁ、なんだ。仕事かい」
「それじゃ、張り切っていこうかね！」
「老体に鞭打って、アンタらも惨いことをするもんだよまったく」
「へいへい、正宗隊員！これより任務に移る！ってね」

----------【ハンドアウト】----------
N市内のとある高校でまことしやかに囁かれる幽霊の噂。
ほんのささやかな噂は、日に日に拡大していった。
生徒たちが見た夜な夜な現れる幽霊―
その幽霊は何やら動物を引き連れているため、『ハーメルン』と呼ばれていた。
『ハーメルン』の正体に行き着く時、真実へと対峙する…